

キャラクター名  
藤沢 彩矢 (ふじさわ あや)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	FHチルドレンC	カヴァー	
	パロール					
オプション			年齢			性別
覚醒	憤怒	衝動	憎悪		初期侵食率	35 %
出自			経験			邂逅

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2		0			2	行動値	9
感覚	2		0			2	(非装備時)	9
精神	3	1	1			5	戦闘移動	14
社会	1		0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	4		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
レインボウアビリティ	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
Dロイス 亜混血	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー					
効果: C値をSL分下げる								
雷神の槌	3	3	メジャー	視界	範囲/選択	RC		
効果: 攻撃力+6 シナリオSL回 同エンゲージ不可								
黒の鉄槌	1	1	メジャー			RC		
効果: 攻撃力+SL×2+2 同エンゲージ不可								
暗黒の槍	2	3	メジャー				シナリオSL回	
効果: 装甲無視5点HP消費								
黒星の門	3	2	メジャー			ドローム	ピュア	
効果: ダイスSL+1個 同エンゲージ不可を無視 Dロイス								
帝王の時間	★							
効果: 時間の流れを操作して1秒を1時間に変わたりなどする								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

私は幼いころ虐めを受けていた、私は容量が悪く、人とかわることが苦手で、ただ黙って本を読むことを好むおとなしくて静か、静寂を好む子だった。また、私は学校行事がとて嫌いだった。残債ゼロという行事が出れば吐いたキャベツを無理やり食べさせられ、体育祭が出ればひたすら「足を引っ張るな」だの、「またお前が縄に引っかかった」だの「入場行進、リズムがあってないよ」だの言われたのだ、だから私は保健室登校になった。保健室登校になって数年たったのだが、今度は合唱コンクールの練習にこいと言われた。私は断ったのだが、学校の担任や保健の先生、両親までもが「協調性」だの「みんなで一つのことを成し遂げる喜びを知ってほしい」などと戯言を言うのだ、私は「場の空気を乱さないためにあえて参加しないという協調性を取ります」と返事をした、それでもクラスメイトも担任の先生の納得しなかった。私はいい加減うんざりしたのだが副担任の先生の「いい加減にしろ!」「何様のつもりだ!!」「お前だけ楽をしようっていったってそうはいかない!!」と胸倉をつかまれたのだ。私の中で何かはじけた。私は精いっぱい喉を震わせ、「ヤメテ!!私の静寂を乱さないで!!」って叫んだ。副担任も担任もクラスメイトもみんな闇に飲まれた、私はそれが何なのかははっきりとわかってた。

「私の、『拒絶』という『欲望』なのだと」

私は家に帰る気にもなれなかった、しかしお金もなかった、おながが空いて途方に暮れていると春日恭二という男に出会う。彼は私の好きなパンとジュースを買ってくれた。私は彼に今まであったこと、自らの異能について全て打ち明けた。「これは私の気持ちが現れたものだと思う、私の嫌だっという気持ち、拒絶っという気持ちが表れたんだと思う」。彼はすごくうれしそうな顔をしてFHへと勧誘してくれた、その後私はFHチルドレンとして働くことになった。

私の望みのため、私の居場所のため・・・そして、私の復讐のため

「私は『みんなで一つのことを成し遂げる喜び』が許せない、『協調性』が許せない、だから私は、私の許せないものを『消してしまいたい』」